

検討課題(利用)についての説明資料
(河川管理者からの提供資料)

第9回猪名川部会

河川利用について

河川空間利用の基本的方向性

- 河川は河川としての機能を果たすべき。
- 本来、河川は河川としての機能を果たす場で、できるだけ自然に戻すべき。
- 都市的利用(河川公園等)と自然的利用のバランスの検討。

治水

利水

環境

バランス

河川整備計画

これまでの議論

① 河川敷利用のあり方を再考すべき

河川敷の利用の方針の検討や必要とされる施設等について河川敷を利用するのが本当に適当かどうか、検討すべきである。

ゴルフ、農薬等。また、不法占拠、不法耕作などの排除等。

② 河川敷の自然的利用を検討すべき

「河川敷の利用についてできるだけ自然のままにしてほしい」との意見を無視すべきではない。

最小限の管理を行なう、自然を感じることの公園にすべきではないか。

③ 水域利用のルールづくりを行なうべき

湖面利用、水域利用などについてのルールづくりを行なうべき

利用における課題

ニーズと治水上、環境上とのかねあい

具体的課題・検討項目

- ① 堤防天端
- ② 堤防法面
- ③ 高水敷
- ④ 低水敷
- ⑤ 水面利用
- ⑥ その他